

勉強嫌いだけど頑張る

省略

「勉強しなさい！」親にそう言われても、なかなかやる気が起きないことってありますよね。「受験生だから頑張らなきゃ」と頭ではわかっているけど、テストに追われてしんどくなったり、結局テスト 1 週間前になるまで焦らなかったり……。多くの人が同じような経験をしているのではないのでしょうか。

でもある日、こんな言葉をかけられたらどう思うでしょうか。「やらない困るのは自分やで。ちゃんと勉強しておけば、将来よかったって思える。私もそう思えたから」いつもなら聞き流してしまう親の言葉。でも、この言葉には「あなたの将来を本当に心配しているからこそ、いま伝えておきたい」という、心からの優しさと願いが詰まっています。叱ってくれるのは、あなたのことを真剣に考えてくれている証拠です。

■日々の努力が大切な訳

「テスト前に一気にやればいいや」と思いがちですが、毎日の家庭学習には、直前だけの勉強では絶対に得られない大きなメリットがあります。

焦りが「自信」に変わる：テスト 1 週間前に慌てる理由のほとんどは「準備不足」です。毎日少しでも机に向かっていれば、安心感を持ってテストに挑めます。

「5教科」をバランスよく育てる：受験は総合力が勝負です。1 日に 5 教科を勉強するのは大変ですが、毎日「ちょっとずつ」触れることで、苦手な教科も無理なく底上げしていくことができます。

努力の「貯金」が将来の選択肢を広げる：勉強は、誰のためでもない「自分の将来のため」の貯金です。毎日コツコツと努力を続けた経験は、大人になったとき、必ず「あのとき頑張っておいて本当によかった」と思える自信につながります。

■最初から完璧じゃなくていい

「毎日やろう」と決めても、誘惑に負けそうになる日もあるはず。それは決して恥ずかしいことではありません。大切なのは、そこで完全に諦めてしまわないことです。ノートを 1 ページ開くだけでも、単語を 2 ～ 3 個覚えるだけでも構いません。「自分の将来のために、今日も一歩進んだ」という事実が、あなたを確実に変えていきます。

周りの大人が伝えてくれる言葉に耳を傾け、自分の未来のために、今日から「毎日のちょっとした努力」を始めてみませんか？

■体育大会を開催しました（その3）



小ムカデ競争（2 年学年種目）



Essa&Hoisa（3年学年種目）



負けてたまるか！！（綱引き）



負けてたまるか！！（綱引き）



全力を出し切りました（綱引き）

3年生の学年種目はEssa&Hoisa（2本の棒に乗せたボールを落とさずに走ります）です。どのチームも掛け声をかけながら猛スピードで走っていました。

綱引きはブロックで対戦しました。脇をしめて綱を体に寄せる。足は曲げずに重心を低くするなど、団長と先生が大きな声で呼びかけていました。どのブロックも最後まで全力で綱を引きました。